

Let's enjoy reading books!

新入生のみなさん、初めまして。学校生活には慣れましたか？ 2年生、3年生の皆さんも新しいクラスに慣れて来た頃だと思います。さて、五月号の図書館だよりは、今年度、常滑高校に来ていただいた岩月校長先生へのインタビュー、そして新転任の先生からのおすすめ本第1弾を紹介し、第2弾は次号にお送りします。お楽しみに。

図書館だよりで紹介した本の中で、読んでみたい本があったらぜひ、図書館に来てください。その本以外にも素敵な本との出会いがあるかもしれません。私は沖先生おすすめの本が読んでみたくなりました。今年度もたくさん本を紹介していきますので、よろしくお願いします。



校長先生にインタビュー！

今回は、今年度からお世話になる校長先生にお願いしました！

鈴木：今日はよろしくお願いします。校長先生のお好きな本を教えてください。



校長：こういった時に必ず挙げるのは『レ・ミゼラブル』ですね。対照的なふたりが、対立しながら関わり合っていく物語の展開が好きです。もうひとつ、印象に残っているのは高峰譲吉という方の伝記です。仕事が化学系の父からもらった本で、これをきっかけに色々な方の伝記を読むようになりました。決して有名な方では無いのですが、今思うと自分に”化学の道のおもしろさ”を伝えたいという父からのメッセージだったのかなと。

鈴木：ありがとうございます。では次に高校時代の思い出を教えてくださいませんか。

校長：高校では卓球部に所属していて、熱心に取り組んでいました。行事がとても盛んな学校で学校祭や三年生を送る会など、全力で取り組みました。本は、アガサクリスティや横溝正史など王道推理小説もよく読んでいました。今回のインタビューの話聞いて、当時読んでいた推理小説以外の本を探して持ってきたんです。

『やぶれかぶれ青春記』『チベット旅行記』『リーダーズダイジェスト』『四次元の世界』etc. 最近のものでは『何のために「学ぶ」のか』という本を生徒の皆さんにおすすめしたいです。「中学生からの大学講座」シリーズの1つです。他も



読んで、ぜひ自分に合ったものを見つけてもらいたいです。

鈴木：校長先生から見た常高生の印象を教えてください。

校長：まだ赴任したばかりで常高生との関わりが少ないので、これからたくさん関わって知っていったらと思っていますが、今は落ち着いた生徒が多いなあという印象です。

鈴木：常滑高校でやってみたい事はありますか。

校長：生徒の皆さんとの交流ですね。学校行事などを通じて何が出来るかをゆっくり探していこうと思います。次に行うとき、よりよいものができるように。

鈴木：ありがとうございます。では最後に生徒に向けて一言お願いします

校長：笑顔でいましょう。

何事にも力を尽くして、振り返った時に少くも悔いが残っていても良いんです。この三年間、笑顔が多かったなと思えたら素敵ですね。

鈴木：今日はありがとうございました。



(インタビュー：図書委員長 2年3組 鈴木将生
記録・文章：図書副委員長 2年1組 小池璃緒)

《補記》

校長先生は物理の先生として、いろいろなことを実際に見せてあげたいとおっしゃっていました。当日私たちはネオジム磁石も見せてもらい、興味深いお話も聞けました。終始穏やかに笑いも交えながらお答えいただきました。予定時間以上にお話しいただき、お忙しい中ありがとうございました。

新転任の先生おすすめの本 第1弾

地歴公民科 沖 祐美帆先生



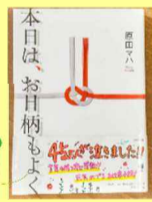
私のおすすめの本は、茨木正治著『おもしろい世界の風刺画』です。産業革命以降の世界の風刺画がたくさん載っています。面白い見出し付きなので、とても簡単に読むことができます。また、カラー印刷で見ただけでも楽しく、歴史を学ぶこともできるのでお勧めです。風刺画は、当時の状況を知るための手がかりにもなるので、ぜひ風刺画を調べたり、この本を読んでみてください。



国語科 佐々木かおり先生



お薦め本は、原田マハさんの『本日はお日柄もよく』です。あるとき涙が溢れるほど感動する衝撃的なスピーチに出会います。そして、その伝説のスピーチを作った女性に弟子入りし、奮闘する物語です。言葉の魔術師ともいわれるスピーチライター。より多くの人々の心を動かす言葉を選ぶには、どうしたらいいの？ 師匠が優しく、ときに厳しく教えてくれます。私も国語の教員として、皆さんに届く言葉選びをせねば！と思わせてくれる一冊です。



セラ科 佐藤千恵先生

『Design 暮らしとデザインの本』
デザインの現場から2
伊坂正人ほか著



デザインするってなに？ から始まって、小学生でもわかる様な言い方で優しく「もの」をデザインしている人（デザイナーや、ディレクター）の考え方や、どんな風に新製品が造られているかが、描かれています。デザインは、色や形、仕組みを考えて企画、設計し、世の中に提案していくことですが、特別な才能がある人しかできないことでは、決してありません。君も扉を開いてみてください。



家庭科 高橋未来先生



私のおすすめの一冊は風良ゆうさんの『流浪の月』です。家庭基礎の授業では、4月に家族分野の学習を通して、ジェンダーについての話をしました。愛に決まった形などありません。この本は本当に人を愛するとはどのようなことであるかを考えさせられる一冊になっています。みなさんは心から愛する人はいますか？ 今までとは愛の考え方が少し変わるかもしれません。本校の図書館にもありますので、気になる人はぜひ読んでみてください。



図書係新海先生のお薦め本 第6弾

『源氏がたり』(上・下) 林真理子著



六条御息所が語る源氏物語。桐壺更衣や夕顔がほろくそに言われている。桐壺更衣をここまで言っているのか、こんな解釈していいのかと、逆に新鮮な感じがした。紫の上の心情も描かれていて、結局女人は誰も、源氏のせいでは幸せになれない。サイテーの男として光源氏が語られ、これも何か爽快感があった。授業で源氏物語に興味があった人は是非どうぞ。紫式部すごいぜ、です。



☆図書館からのお知らせ☆

生徒のリクエストの本が購入され、新着本コーナーに展示がしてあります。その中には、他校の生徒さんから紹介されたイチオシの本もあります。

自分が読みたかった本があったり、自分では気が付かなかった本に出会ったりできます。

読みたい本が見つからなかった時は、ぜひ！リクエストしてくださいね。図書館の受付カウンターに用紙があります。

常滑高校読書推進委員長とこじい

